

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・活用能力を高める授業改善を行えた。
- ・タブレット等のICTを用いた授業展開を行うことで、授業に対する生徒の主体性が高まった。

(2) 課題

- ・学習したことを長期記憶化する点に課題があるため、生徒が主体的に学習に取り組める授業展開を行う。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	ほぼ全範囲において区の平均を下回っている		
第2学年	区の平均を上回る分野もあったが、全体的に区の平均を少し下回った。	区の平均を上回る分野もあったが、全体的に区の平均を少し下回った。 (第1学年時)	
第3学年	地理・歴史ともに、区平均を少し下回っている。	地理・歴史ともに、区平均を少し下回っている。 (第2学年時)	区の平均と同等である。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の中の日本についての正答率は目標値前後となっているが、日本国憲法や日本の政治など公民分野の正答率が低くなっている。歴史に関しては満遍なく正答率が低い。	複数の資料を基に考察し表現することが課題であり、そうした問題は無回答も多くみられるため苦手意識があることも考えられる。	

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理分野、歴史分野ともに正答率が目標値を上回っているものもあるが、全体的にみると低い。	出題意図を理解できておらず、表現力も不足している。特に資料からの読み取り力が課題である。	

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理分野の単元の正答率が低い。歴史分野では、ほとんどの問題で正答率が目標値に近い。	複数の資料から読み取れることを踏まえた考察力が課題である。表現力も不足しており、ポイントをおさえた回答ができていないことが見受けられる。	

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科書など基本的な教材を用いて毎授業の小テストを行う。授業後には学んだ語句をプリント学習などで復習することで、何度も語句に触れる機会を設ける。	I C Tを用いて複数資料を提示し、個人で思考を深める時間を設ける。その上で、複数人と意見を交流することを通して自分の考えを表現する経験を重ねる。	苦手意識のある分野を生まないう、ジグソー学習などを用いて分野に関係なく主体性を持って学ぶ形式を行う。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業の導入で前回の復習を入れ、知識の確認を行いさらなる定着を図る。技能については、グラフや資料から分かることを、I C Tを使い個人で考えさせ、クラス全体で共有する。	思考・判断については、資料から分かることを、I C Tを使い個人での考える時間を設ける。表現については、単語によるものが多かったもので、5W1Hを意識させていく必要がある。	授業内での発言や取組は見られるが、家庭学習につながらなかったため、生徒の身近でイメージしやすい授業展開を行うことで主体的な学習に結び付ける必要がある。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前回学習した内容の振り返りや、既習の範囲で毎授業の最初に行い、単元の終わりに小テストを行う頻度を増やし、授業内で既習内容を活用させて知識・技能の定着を目指す。	各テーマに課題を設け、生徒が知識を活用して課題解決を行う授業展開を心掛ける。そして出来事が起こる原因やその結果が社会にもたらす影響を考える時間を作る。I C T機器も用いるなどして、考えさせたことを文章で書かせ生徒間で共有し、思考・判断・表現の力を育む。	政治や経済の仕組みなどが含まれるテーマでは、生徒に身近な例を挙げ、生徒自身が具体性をもって考えられるようにしていく。授業形式に調べ学習を取り入れて、生徒のペースで主体的に学習に取り組む環境を作る。